

平成 25 年 10 月 7 日

外務省国際協力局
民間援助連携室長 殿

特定非営利活動法人
横浜 NGO 連絡会

NGO 相談員による出張サービス実施企画について

NGO 相談員による出張サービスを下記のとおり企画実施いたしましたので報告いたします。

記

1. 企画名：JICA ボランティア募集説明会における出張相談
2. 出張者氏名：飯田信子
3. 依頼元／主催団体名等：JICA 横浜
4. 実施予定日時：平成 25 年 9 月 26 日(木) 19 時～21 時
5. 実施場所：JICA 横浜 地階体育館

*会場正面に向かって左側壁面前に、JICA によるボランティア募集相談コーナーとは独立して NGO 相談デスクを設置。

6. 企画の概要

①企画内容：平成 25 年度秋募集 「体験談&説明会」

青年海外協力隊／シニア海外ボランティア：19 時 00 分～21 時 00 分

②目的：JICA ボランティア以外の国際協力活動、NGO 活動、ボランティア活動などについての幅広い相談に対応する。

②対象：対象は、シニア海外ボランティア、青年海外協力隊の参加希望者 約 200 人

7. 相談件数 3 名（シニア：1 名、協力隊：2 名）

8. 所感および効果等

JICA 横浜との連携による JICA ボランティア説明会会場での出張サービスの実施も恒例化してきている。JICA 側から事前に、かねてからの課題であった NGO 相談デスクの設置場所について当会の要望を聴き取る機会を設定するなど細かい配慮に感謝している。その結果、相談者の増に繋がった。

説明会では、協力隊の相談コーナーの相談員から当団体を紹介され訪れた相談者もあり、進路に迷っている相談者にとっては JICA 側および NGO 側からも話を聞くことができるいい機会である。

プログラムの都合上、相談時間の制約があり 1 名の相談員では対応できず順番を待っていた数名の相談を受けることができなかった。次回以降は、1 名でも多くの相談に乗れるよう相談員 2 名体制で実施したい。

9. 会場の様子



以上

平成 25 年 10 月 9 日

外務省国際協力局
民間援助連携室 殿

特定非営利活動法人沖縄NGOセンター



NGO 相談員による出張サービス実施報告書

NGO 相談員として、出張サービスを実施しましたので、内容をご報告させていただきます。

記

1. 企画名：伊平屋村立伊平屋小学校学校訪問
2. 実施日時：平成 25 年 9 月 27 日（金） 9:00～12:00
3. 実施場所：伊平屋小学校 （沖縄県島尻郡伊平屋村字我喜屋 2132 番地）
4. 実施内容：沖縄県費留学生と伊平屋村立伊平屋小学校の全校生徒が交流を通し、相互理解を深めるための国際理解教育の取り組みに関わり、外国事情を学び、多文化共生について共に考えることができた。授業実施に加え、事前の打合せ、教員からの国際理解教育・開発教育に関する紹介等を行った。
5. 参加者人数：総勢 115 名
6. 所感及び効果

伊平屋島は沖縄本島（北部）から船で 80 分。なかなか外国の人と触れる機会が少ない中で、直接交流を通して、異文化理解につながる事が出来た。また、沖縄県費留学生が南米出身の日系人であるため、移民の歴史、彼らのルーツを紹介することで、沖縄と外国（ブラジル、ボリビア、アルゼンチン、ペルー）とのつながりを知る機会となった。島の子供達も恥ずかしがりだとうかがっていたが、交流のときには積極的に交流をしている様子が見受けられた。国際理解教育・開発教育に関する情報提供も含め、授業後に関連プログラムや教材の紹介させて頂いき、僻地への国際理解教育・開発教育のサポートへ繋がれたと思われる。



全校生徒で、移民クイズや様々な言語の挨拶言葉を通して、世界の国へ目を向けます。



2 時間目は 4,5,6 年生の教室に別れて、各国について理解を深める授業を実施。地理、歴史、言葉、文化を学びました。

2013（平成 25）年度 NGO 相談員出張サービス報告書

報告者：（特活）関西 NGO 協議会 奥谷充代

1. 企画名：

「国際協カステーション 2013」NGO 相談員ブース出展、国際協力入門講座講師

【形態：相談対応サービス・講演・セミナー・その他（ ）】

実施日時：平成 25（2013）年 9 月 15 日（日）

10 時 00 分～18 時 00 分

場所：京都駅ビル 2 階インフォメーション前広場 9 階京都府国際センター内会議室
（京都市下京区東塩小路町 901）

出張者氏名：奥谷充代

2. 実施内容：

会場である京都駅ビルを活用する多くの人々に途上国の状況をお知らせし、関心を持っていただくとともに、身近な国際協力への参加方法を紹介することを目的にブース展示、団体活動紹介、国際協力入門講座がおこなわれた。

当会は、NGO の活動を紹介する「NGO ブース」コーナーに「NGO 相談員ブース」を設置し、参加者からの個別相談に対応した。また、「国際協力カフェ」の国際協力入門講座で講師を務め、「NGO って何だろう？～いろいろな国際協力のカタチ」と題して、NGO の特徴（NPO・行政・企業との違い、役割りなど）や活動（分野、内容、対象国、形態など）、財政規模や雇用状況といった基本的なことについて説明した。

3. 集客人数または相談対応件数：

参加者：2,432 人（9/14,15）、ブース出展：19 団体（9/14,15）

相談対応件数：35 件



4. 所感及び効果等：

昨年度までと同様に、インターンや就職、海外ボランティアに関する問い合わせが多く、国際協力や NGO への具体的な関わり方を模索する層が NGO 相談員ブースを活用したと考えられる。また、プロボノとして NGO を実際に支援している方からゴール設定や有効性、京都府北部の中山間地域の国際交流協会担当者から外国籍の方々に対するアプローチの仕方など、現在実際に従事している事柄についてのご相談も数件あった。NGO 相談員制度（活用の仕方や対応可能な相談内容など）を合わせて説明する機会も多く、NGO 相談員制度の周知もできた。



国際協力入門講座には、教員に引率された高校生グループや幅広い年代の市民が参加され、熱心にメモをとり、説明後の質疑応答も活発で、関心の高さが伺えた。

普段あまり交流がない NGO 関係者や JICA 関係者との意見交換によってそれぞれの活動や問題意識について情報共有することもでき、今後のネットワークづくりに資する機会ともなった。

以上